

Youth Manna

マルコ1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2022/6/13(月)

ネヘミヤ9:16-38

32節の初めの2行を2回読もう！ここには、神様がどのような方だと言われているかな？

ネヘミヤたち帰還の民は、出エジプトの出来事を振り返って、神様はこういふ方だと告白した！私達も聖書を読んでる者として、イエス様と共に歩んでいる者として、神様はどういふ方だと言っただろうか？君の言葉で書いてみよう^_^

2022/6/14(火)

ネヘミヤ9:38-10:39

9:16と10:39最後の文を読み比べてみよう。民は罪の告白して祈り、そして行動に移した。

私たちの信仰も、口だけ、形だけにならないで実際の行動も大事にできるように意識していこう！

30節からの誓いの内容を見ると、お金に関することが多い。それだけ私達が与えられたお金をどう管理し、何のために使うかに神様に対する信仰が現れるということだろう。

君はどのようにお金を使っているかな？それは神様が喜ぶ使い方かな？お金の管理の面も合わせて考えてみよう！

2022/6/15(水)

ネヘミヤ11章

恥とされていたエルサレムが「聖なる都」として回復される。これは、神の深い恵みによるものであった。城壁の完成(6章)と、人々の霊的な成長(8-10章)を経て、ついにエルサレムに住む人が増やされる。指導者以外では、住む人はくじで選ばれた。民はみこころを求めてくじを引き、当選者はそれを受け入れて進んで住む決心をし、他の人もそれを祝福した。本章は、その新たな住民の代表者名と人数が記されている。神のもとを離れていた罪人が、キリストによって救われ完全にされていくように、エルサレムは神の恵みによって回復していった。祈り：私をキリストにあつて受け入れてくださったことを感謝します。あなたのみこころのままに私を造り変えてください。

2022/6/16(木)

ネヘミヤ12:1-26

最近では名前だけのような箇所が多く、読む意味に疑問を持つことはないだろうか？ただ、自分がどう受け取りたいか(じっくりくるなど)というところに意識を置くことなく、神様のことばの本質を理解できるように祈ろう！

エルサレムの住民も増え、晴れて城壁奉獻式がとり行われる。そこで今日の箇所では、奉獻式で重要な役割を担う祭司やレビ人たちの名前が記されている。ダビデの時代に記されていた祭司と同族のかしらの組数と比べると少しだけ少ない。これは捕囚の間に失われたと考えられる。

神様が選んだ民だとしても、ずっと安定があるのではなく、たくさんの選ばれるものは人である。神様に任されているものを保てるよう祈ろう！！詩篇125:1「主に信頼する人々はシオンの山のようなだ。揺るぐことなくとこしえにながらえる。」

2022/6/17(金)

ネヘミヤ12:27-47

エルサレムの城壁が完成した喜びと感謝を献げる奉獻式が行われた。城壁が完成した6章には、喜びの記述はなく、ネヘミヤが敵から脅されていたことが強調されていた。その翌月にあった仮庵の祭り前後では、喜びよりも先に人々は罪を示されて深く悲しんだ(8章)。

しかしこの奉獻式には、ただただ喜びがあった。エルサレムにいたすべての人が喜んだ。なぜなら、神様が大きい喜びを与えてくれたからだ。そして、その喜びの奉獻式のためにレビ人が賛美隊として活躍した。人が足りなくて探し出してくる程、レビ人には重要な役割があった。

今度の礼拝の賛美奉仕者のために祈ろう。誰が賛美奉仕をするのかは、週報の左下に書いてあるから探してみよう！

2022/6/18(土)

ネヘミヤ13:1-18

ネヘミヤがいなかった間に、人々は神様を恐れることを忘れて、神様と会える礼拝も形だけのものにしてしまっていた。ネヘミヤは、それをそのままにしておくことはしてないね。厳しいけれども、みことばに基づいて、止めるべきことはきっちりやめるようにと伝えている。私たちは普段の礼拝や、毎日のデボーションの中でどれくらい本気で神様を恐れ、求めているだろうか？

今日、神様の思いに心を向けて少し静まろう…そして、私達のもてるすべてを心から神様のために捧げていこう！

2022/6/19(日)

ネヘミヤ13:19-31

本章はネヘミヤの改革のまとめであり、ネヘミヤ書の締めくくりでもあるが、祈りのことばが多く見られる(14、22、29、31)。激しい反発の中で人の罪と戦う人が、彼らや私のことをどうぞ覚えてくださいと祈れることは幸いだ。なぜなら最善の結論を神様は用意してくださるからだ。神様は神様を礼拝する中で、みことばと御霊によって生涯をかけて私達を改革してくださる。

お祈り:神様、あなたの御手で私を日々造り変え、あなたがそのみわざを完成されるまで、私を通して祝福を溢れさせてください。